



が、こんな時だからこそメンバーが唱える「小さなお祈り」から学ぶ『受け容れる落ち着きと、変えられるものは変えてゆく勇気と、二つのものを見分ける賢さ』をかみしめながら、一日も早くコロナ過が納まり、平安な日々に戻ることを痛切に感じています。

## ■B類常任理事退任の挨拶（2022年3月31日付）

\* - + - \* - + - \* - + - \* - + - \* - + - \* - + - \* - + - \* - + - \* - + - \* - + - \* - + - \*

### 常任理事退任にあたり ～

常任理事会 議長・企画担当理事 村川

2018年4月、初めての常任理事会に参加した緊張と戸惑いを覚えています。それから4年がたち、先週3/5～6日に次の理事のためのオリエンテーションと役割の引継ぎ、それから常任理事会の棚卸しを終えて、いまこの原稿を書いています。

この2日間は、担当理事からの報告事項の具体的な引継ぎにとどまらず、棚卸しや分かち合いを行うことで、常任理事会の全体的な方針や原理など、常任理事会の良心を受け渡すことが出来たと感じています。常任理事会機構が始まってより、草創期の情熱と信仰を、その情熱を引き受け、試行錯誤を繰り返す成長の痛みを、そして埋め合わせが感謝へつながり、更に発展し継続させていく。その都度の理事会が、ステップ、伝統、概念という36の原理を使って辿ってきた、その一部に私自身も加えて頂いてきたことを感じています。そして、次に受け渡していくことにより与えられる12番目のステップにも似たそんな喜びと、常任理事会の愛がサービスの輪となって広がっていく、その確信を嘯みしめています。

評議会からは、時に厳しくも暖かい励ましを、数々の助言と気づきを、そしてなによりたくさんの信頼を頂きました。過去全ての常任理事会からは経験と感謝、そして歴史の一部としての誇りを頂きました。JSOスタッフの皆さんや理事会委員会、評議会事務局やボランティアのメンバー、各実行委員会の皆さんからは、信頼と協力を、新しい考えや情報を、時間と労力を、心からの励ましを頂きました。

そして、共に責任を負い、性別も年齢も、互いの立場や信条も、時に混乱する感情もこえて、このみんなの愛する共同体のために一緒に活動して下さった、常任理事会の皆さんには、尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです。ほんとうにありがとうございました。意味のある人生を与えて頂いた恵みに感謝しています。

最後に、私を陰で支え続けてくれた家族への心からの感謝を添えて、退任の挨拶とさせていただきます。

### 感謝 ～

全国選出常任理事 大迫

常任理事の4年間の任期がまもなく終わります。全国選出常任理事、出版担当理事、財務担当、プラスして後半2年間は常任理事会村川議長の補佐、そして2021年は第1回西日本圏GSF（ゼネラル・サービス・フォーラム）のチェアパーソンとして、微力ながら

悔いなく精一杯やらせて頂きました。私自身の未熟さで至らない部分も多々ありましたが、常任理事として多くの仲間と一緒に活動し、この共同体に奉仕させて頂けたことを誇りに思います。振り返れば、2020年の新型コロナウイルス禍や財政危機、ビッグブック改訂など出版や同時進行の複数プロジェクト、常任理事会内外で起こる様々な問題や課題に対して責任をもって建設的に対処できたことは、13年前に離婚し仕事も失って、アルコール無しで再び社会の中で生きていけるとは全く思えず、自己憐憫と不安で自分のことだけを考えてAAに繋がった当時は、到底想像もつかなかったことです。これは自分の力ではなく、AAの霊的な路線の生き方の中で与えられた私にとっては奇跡とかいえない恵みです。

この4年間、私生活ではサラリーマンとして週5日仕事しながら、家庭では5年前に結婚した妻との時間も確保し、一人のAAメンバーとしてはホームグループと、たまには他のオンラインミーティングやAAイベントに参加しながら、仕事、家庭、常任理事と、どの役目も破綻せずに（肝臓疾患で3度の入院治療など危うい場面もありましたが）何とかバランスをとれたのではないかと思います。

ゼネラルサービスの根幹である出版事業に担当理事として携われたことや、厚生労働省アルコール健康障害対策関係者会議で参考人としてAAの説明など貴重な経験もさせて頂きましたが、それ以上に全国の多くの素敵な仲間達とAAの同じ目的に向かって共に活動できたことは、私の生涯の宝です。あらためて一緒に活動した常任理事会メンバー、JSOの3名の職員、評議員の皆さん、出版委員会や訳語検討委員会、西日本圏GSF実行委員会等の各委員会メンバー、テクノロジー委員、翻訳や通訳、評議会事務局ボランティア、ゼネラルサービスと皆さんのJSOを献金で支えてくれた全国のメンバー、そして妻、AAのプログラムを手渡し見守ってくれたスポンサーに感謝と、AAの先人たちに敬意を表します。ありがとうございました。

### 一人でも多くのアルコールの命が、そして人生が救われることを願います ～

西日本圏選出常任理事 佐藤

2020年10月より、欠員補充で常任理事会メンバーに加わり、今年3月で任期終了となります。短い任期でしたが、おかげさまで評議会に2回出席しましたし、幸運にも自分の所属する地域で開催された西日本圏GSFも経験できました。

このフルオンラインでの西日本圏GSFは、実に素晴らしい経験でした。開催初日の2021年12月18日（土）に辿り着くまでに、実行委員会が数多く開催されましたし、今から振り返りますと、二度と経験できないだろう…と思える、とても貴重な経験になりました。

そして、このイベントに向けて、当日プログラムでの各役割、スピーカーや司会の分かち合いについて多くの仲間に説明し、また相談したことも、とても良い思い出です。それを仲間が快く引き受けて

くれたことも、とても嬉しく感謝の思いです。

忘れられないのは、開催初日から続いた二日間の熱気と、充実したためまぐるしさと、気持ちの高揚感…、これまた貴重な経験で、滅多にない、何とも言えない興奮を覚えました。エンディングでの感動もまたひとしおでした。次回の東日本圏GSFが、とても楽しみになっております。

このように盛り沢山にいろいろなサービスが続いた僅か1年半あまりの任期でした。役割に追われているうち、実に学ぶことも多くて、IT用語や情報技術、ことに数年で普及したオンラインの活用技術も大いに学ぶ必要が生まれたりしました。そして、これらが次々と続いていくうちに、またたく間に役割を手放す日が訪れた、という感じですね。

折しもコロナ禍が始まっていて、世の中は、これまでとは一変していました。AAでの会議はすべてオンラインで、従来のJSOに集まり行う常任理事会等の会議を一度も経験しないままに、退任のときがやってきました。

常任理事としての役割も、メンバーとの交流も、その80%以上はオンラインでおこなってきたような感じです。しかしながら、意外にも回数は多くて、それなりに中身は濃かったような気がしています。

常任理事会での担当は、第2分科会で、BOX-916と、矯正・保護施設でした。BOX-916では、編集委員会と、916 頒促委員会のオンライン会議が、毎月それぞれ、一回ずつ開かれて、毎回、学ぶところも多くて、意義ある感触でした。ほかにもフォーラムや研修会も数多く、全てオンラインでしたが、けっこうたくさん参加できました。

オンラインの普及と常任理事会メンバーのおかげで、ステッピング・ストーンズ(<https://www.steppingstones.org>)のツアーも参加できましたし、アメリカ・カナダのオンラインイベント PRAASA2021 (Pacific Region A.A. Service Assembly 2021)にも参加できました。また、西日本圏GSFにはアメリカ・カナダの常任理事やGSO所長もビデオでご参加を頂きました。さらに、先日の常任理事会にはアメリカ・カナダのA類、B類の常任理事、そしてAAワールドサービス社のディレクターと、なんと、5人もご参加頂きました。このように、仲間の力強い奉仕とオンラインの普及によって、一気に国際的になってきていることを感じています。

日本 AA も、そして日本の常任理事会も、確実に成長している、と確信しています。これから、ますます社会にむけてAAの活動内容を伝え、AAをもっと知っていただき、一人でも多くのアルコールの命が、そして人生が救われることを願います。

関係者の皆様、私たちAAの仲間、ほんとうにどうもありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

※星WSM評議員退任の挨拶、及び小谷理事(全国選出B類常任理事、2022年2月8日付)着任の挨拶は、2022年4月1日より着任される理事会メンバーの挨拶と共に、次回209号に掲載いたします。(ニューズレター編集委員会)

## ■第27回評議会(2022年2月5~7日)を終えて

\*-+-\*-\*+-\*-\*+-\*-\*+-\*-\*+-\*-\*+-\*-\*+-\*-\*+-\*-\*+-\*-\*+-\*-\*+-\*-\*+-\*-\*+-\*-\*+-\*

全ての議題が尊重され大切に扱われている

### 第1分科会議長 石田(東関越地域選出評議員)

私は2008年6月初めてAAミーティングに参加しました。約9ヶ月の連続飲酒の果てに辿り着いた会場は、蛍光灯すら私の部屋のものとは違うのではないかと思うほど明るかったのを覚えています。初日こそ夜飲んでしまいましたが、翌日またミーティングに行き、仲間に提案されるままにグループ、スポンサーを決め、会場での役割も教わりながら一つ一つ経験させていただきました。やがて代議員として分割前の関東甲信越地域集會に参加し、その人数とエネルギーに圧倒されたのが私とゼネラルサービスの出会いでした。その後地区や地域の役割を与えていただく中で、身近な仲間たちが評議員になっていきました。その背中を見ながら「いつか自分も…」と、漠然とした希望があったのを覚えています。

願いは叶えられ、2021年7月東関越地域前期評議員に選出いただきました。その年の暮れに送付されてきたずっしりと重い議題。聞きしに勝るその量と内容に「どうすれば良いのだろう」と茫然としました。

議題と取り組むうちに次々疑問が湧き、読むほどにわからないことが増えていき、評議会が近づくにつれ不安になっていきましたが、数回の勉強会をオンラインで開いていただき、また事務局の皆様御尽力に支えられ当日を迎えることができました。

評議会では第1分科会を担当しました。分科会及び全体会議を通して感じたことは、全ての議題が尊重され大切に扱われているということでした。私の頭を疑問符でいっぱいにした議題も、様々な方向から念入りに検討され個人のエゴとは遠く離れた場所で吟味されていきました。

評議会の最後、全員で平安の祈りを唱和した時(私は子供時代も飲んでいて頃も滅多に泣かないし泣けなかったのですが)涙が出ました。オンライン開催ではありましたが事務局の皆様を始め多くの仲間を支えられてこの場にいられることに感謝が溢れました。これからも愛とサービスの輪の一部として尽くしていきたいと思っております。ありがとうございました。

### 手渡されたことの幸せ、手渡していく責任

#### 第2分科会議長 曾根(中部北陸地域選出評議員)

評議会での審議に参加する不安を先行く仲間に伝えたら、概念

3の決定権を読むよう提案されました。自分の良心に従って行動(投票)することができないロボット評議員では任されたしもべとはほど遠い、と書かれており、真剣に審議して自分の意見を持つことの大切さと、その結果を持ち帰り仲間にきちんと伝えることの責任について分かち合いの時間を頂いてから評議会に臨みました。

AAに来て間もなくの頃、人と違う意見を言うのが苦手な周りに合わせてしまう(でも勝手に行動する…)私が経験した印象的な出来事があります。先行く仲間同士の「真剣な喧嘩？」です。ミーティング前、いつも穏やかで仲良く見えるお二人が激しい言い争いを始めなぜか周りも止めないのでビビりながら聞いていました。定員に達し締切ったイベントに追加参加を認めるか否かという内容でどちらの言い分にもなるほどと思う所があり、でもこんなに真剣に喧嘩するなんて何で？と知っているうちに時間通りミーティングが始まり言い争いもピタッと終わったことに驚きました。もっと驚いたのは、帰り道ではいつもの穏やかで楽しいお二人だったことです。その時ふと気付きました。自分は退院直後のラウンドアップで繋がれたけれど誘われたタイミングは締切りをとうに過ぎていたはずで、自分の知らないところで大勢の仲間たちの苦労があった結果なのだと。先行く仲間の新しい人への思いの深さを感じ、自分が飲まないでいるだけでは足りないのだという思いに至りました。同時に、こんな喧嘩ができるくらい真剣にAAのことを考えられる日が自分にも来るのかしら、と思ったことを鮮明に憶えています。この衝撃的な経験が、その後に私がサービスに関わるようになった原点だったと思っています。

評議会に参加して、事前の勉強会から仲間の真剣な熱量がオンラインでも感じられ度々感動を覚えました。また、今までお会いすることがなかった常任理事のみなさまのお人柄に触れることができ、AAのサービスに真摯に取り組まれる「奉仕の姿」を見せて頂きました。大切なものを「手渡されている」と確かに実感した感謝の3日間でした。

この度、第二分科会議長という貴重な機会を頂きました。誠心誠意努力し、楽しみ、手渡されたものをしっかり次の人に手渡していけるよう責任を担っていきたいと思います。

**愛と希望と素晴らしいパワーを感じ最終日は感動で**

**第3分科会議長 高尾(九州沖縄地域選出評議員)**

評議会は、昨年のオブザーバー参加しか経験がなく不安もあつ

たのですが、AAはスポンサーやサービススポンサーを持つというしっかりとしたサポートシステムがあることで、飲まないで生きる上でも役割を担う上でもとても助けられています。

評議員となり暫くすると、JSOより分厚い書類の束が送られてきましたが、その分厚い書類に目を通して内容がいまいち理解できないのです。どうしようと困り果てましたが、オンラインで事前にその背景や理由を学ぶ評議員勉強会があり、深く理解をすることができました。

今年も評議会はオンライン形式で開催されたのですが、評議会当日に評議員が困らないよう裏方の事務局やテクノロジー担当の方々と共に、事前にデバイスの操作方法、議事の進行、発言の仕方、採決の取り方、などのレクチャーがありました。評議会を支える方々のお蔭で、評議会当日は議案を含め何一つ憂慮することがありませんでした。愛と希望と素晴らしいパワーを感じ最終日は感動で涙が溢れました。

さて、日本では2020年1月上旬から新型コロナが感染拡大し、社会生活状況が一変しました。もちろん、日本だけではなく世界中で会場に集まりミーティングを開催することが困難になりました。

そのような中、3月上旬から私のホームグループであるなごみグループでは、会場が使えない時はインターネットを使ったミーティングをすることになりました。オンラインミーティングで一番困ったことは「献金の方法」でした。取り敢えず、個人献金に切り替えました。あれから2年が過ぎ、グループのオンラインミーティングではキャッシュレス決済を活用しグループ献金の呼びかけが出来るようになりました。

今、時代は大きな転換期を迎え、インターネットでいとも簡単に他国のAAメンバーとも交流を深められるようになっていきます。

今年は、オンラインでPRAASA2021という、アメリカとカナダの太平洋広域AAサービス集会に出席させていただきました。カナダ在住の仲間が通訳をして下さり、他国のサービスに関わるメンバーの経験を分かち合う機会に恵まれとても有意義な時間でした。

日本の評議会でもPRAASA2021でも感じたのは、まだ苦しんでいる仲間にAAの「経験と力と希望」をどう伝えていくかという温かい愛情でした。

地区や地域の皆様にきちんと評議会の議案について報告ができるよう、また、AAや社会の役に立つ人間になれるよう精進して行く所存です。どうぞ、よろしくお願い致します。

編集：ニューズレター編集委員会・発行：NPO法人AA日本ゼネラルサービス

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 3F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

<http://www.aajapan.org> [jso-1@fol.hi-ho.ne.jp](mailto:jso-1@fol.hi-ho.ne.jp)

(月～金)10:00～18:00 (土・日・祝) 休